

波瀬周辺地区の 景観まちづくり

No.1



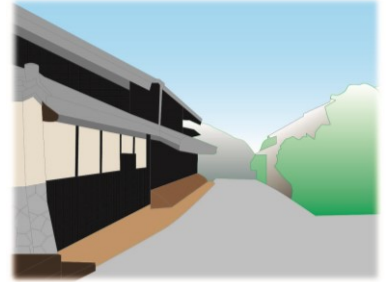
令和4年10月 発行
松阪市建設部都市計画課

松阪市景観計画を進めています！

松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

また、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区に指定し、市民の皆様「もっともっと松阪市の景観を好きになってほしい」との想いで、まちなみの保全に取り組んでいます。

波瀬周辺地区は、和歌山街道の宿場町・波瀬宿として栄え、今なお往時を偲ぶまちなみが色濃く残されており、特に旧脇本陣は国登録有形文化財に登録されるなど、本市を代表する歴史的景観として保全する必要性を強く感じることから、重点地区（候補）としての位置づけをしていきたいと考えています。



和歌山街道「波瀬宿」について

元和9年(1623)に徳川頼宣が参勤交代の帰りに、この和歌山街道を通り、以後暫く参勤交代路として利用され、波瀬にも本陣・脇本陣が置かれ、吉野から高見峠を越えて伊勢国に入った最初の宿場町として発展しました。

波瀬宿には、本陣、脇本陣の他、伝馬所や高札場が設けられ、旅籠屋は4軒あったと言われています。

現在も、江戸末期に建てられた波瀬本陣跡や脇本陣などの建物も残り、脇本陣を務めた田中家主屋（国登録有形文化財）は、田中家資料館として波瀬宿のランドマークとなっています。



【飯高中学校 1 年生が波瀬地区へ遠足に！】

自分の住んでいる地域が好きになった

歴史ある建物が多く残されているなあ



市内では4地区が重点地区に指定されています！

松阪市では、市を代表する良好な景観特性を有し、特に景観保全に努めていく必要がある地区を『重点地区』として指定しています。

重点地区とは、住民、事業者、行政が一体となり、地区の美しい景観を守り、将来にひきついでいくため、市の景観計画に位置づけられた地区のことをいいます。現在、市内4箇所が重点地区に指定されており、地区特有の歴史的まちなみを保全するとともに地区間の交流活動や、住民によるまちなみの保全活動、行灯の点灯などまちなみの演出、地区の歴史や偉人の探求活動など様々な景観まちづくり活動が行われています。

【重点地区や重点地区（候補）の位置】



A 通り本町・魚町一丁目周辺地区



B 市場庄地区

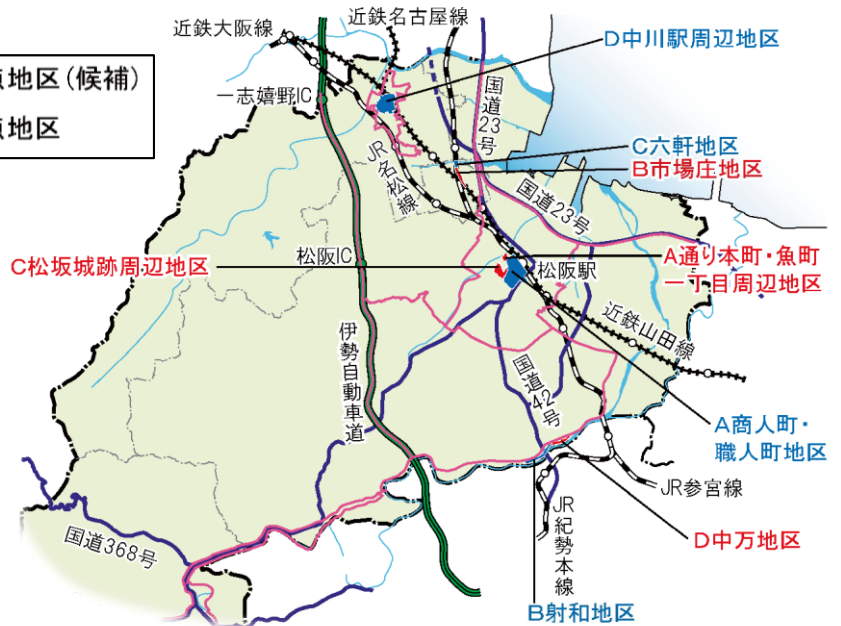


C 松坂城跡周辺地区



D 中万庄地区

- 重点地区（候補）
- 重点地区

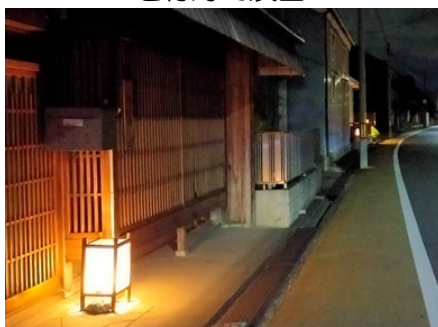


重点地区で行われている様々な景観まちづくり活動を紹介します！

歴史的建造物の活用



“格子戸のまちなみ”
を行灯で演出



地区の伝統行事を
現代版として復活



まちの散策を
通じた交流活動



みんなで柿渋塗りにして
まちなみをメンテナンス



景観まちづくり
意見交換会

